

「外国人嫁」の台湾

グローバル化に向き合う女性と男性

夏曉鶯著／前野清太郎訳／横田祥子解説／A5判 420頁／本体 4500円＋税 978-4-497-21814-8 [8月下旬刊行予定]

東南アジアから台湾へやってくる「外国人嫁」たち。著者は、研究・行政・報道が「外国人嫁」を「他者」として取り上げることで、彼女たちを疎外された存在へ追いやっていると警鐘をならしてきた。本書は90年代台湾に流布していた「定説」——結婚できない台湾農村部の男性と貧しい低開発国の女性の結婚は「社会問題」である——へ当事者・行政側へのインタビュー、新聞・テレビ報道の分析を通じて挑んだ著作である。「外国人嫁」を対象にした研究は、やがてグローバル化のなかに生きる著者自らの人生へとリンクし、「外国人嫁」の自立と台湾社会そのものの変容をめざす「実践式研究」となった。

日本語版序文
序（ジョー・R・フィーギン）
自序

第一章 イントロダクション——物語・伝記・学術・実践

ある光景／疑念／「ざとり」とまなざしの転移／黄昏の鐘／リングの甘み
——アメリカンドリームの種類／「外国人嫁」——一つの鏡／夢から悪夢へ
——自己への投影／客観性をこえたラディカル経験論へ／学術的トレン
ディングと記述の他者化／我が身をそこに置いて／私の立場

第二章 探索への道

研究のはじまり／データの収集／実践式研究を継続的運動の一部分に／
主なフィールド——美濃

第三章 真実（リアリティ）の社会的構築——公的理解の構築

自省／「真実」の社会的構築／公的理解の構築／自省／台北経済貿易代表
処のつくる「社会問題なるもの」／サービス対象の構築

第四章 真実の社会的構築——アイデンティティの構築

自省／結婚における当事者／社会問題の被害者／「台湾人夫」のアイデン
ティティ構築／「外国人嫁」のアイデンティティ形成

第五章 真実の社会的構築——マスメディアによる構築

自省／社会問題の原因／女性のイメージ／男性のイメージ／真実の社会
的構築をめぐるパワーゲーム／真実の構築がもつ構造的性質

第六章 資本のグローバル化と商品化された国際結婚

自省／資本のグローバル化と「結婚移民」／台湾・東南アジア依存関係の
形成／資本主義化のねじれ発展と「結婚移民」の発生／国際結婚が資本の
グローバル化から受けるフィードバック／国際結婚——国際分業の個人
的関係化とジェンダー関係化／小結

第七章 識字の教室、姉妹の教室

自省／「外国人嫁識字教室」の実践式研究プロセス／「外国人嫁識字教室」
が教えてくれるのは／実践式研究からの社会研究／自己批判のすすめ

第八章 課題・情勢・展望

自省／結婚の「誠実なフィクション」／結婚——家族の事柄／個人主義の
ロマンス——解放か孤立か／「自己」と「他者」の構築／横断性——異
同の合一／反省は始まり 実践の道行きへ

日本語版のための補章

訳者あとがき（前野清太郎）

解説 台湾の結婚移民現象に関する夏曉鶯のポジション（横田祥子）

東方書店 【中国・本の情報館】 <http://www.toho-shoten.co.jp>

東京店舗 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-3 ☎ 03-3294-1001 / FAX03-3294-1003 / shop@toho-shoten.co.jp

通信販売 〒175-0082 東京都板橋区高島平 1-10-2 ☎ 03-3937-0300 / FAX03-3937-0955 / tokyo@toho-shoten.co.jp

関西支社 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 2-6-1 ☎ 06-6337-4760 / FAX06-6337-4762 / kansai@toho-shoten.co.jp

台湾学術文化研究叢書 全10冊 ※書名は変更される場合があります。

王甫昌著／松葉隼・洪郁如訳 『族群——現代台湾のエスニック・イマジネーション』

A5判 192頁／本体 2,500円＋税 978-4-497-21417-1〔2014年刊〕(『当代台湾社会的族群想像』群学出版有限公司、2003年)
現代台湾社会における「族群(エスニック・グループ)」という概念は、「民主化」や「台湾化」にどのような影響を与えたのか。「原住民族／漢族」「外省人／本省人」「閩南人／客家人」などの関係性を明確に論じた概説書。

張小虹著／橋本恭子訳 『フェイク タイワン——偽りの台湾から偽りのグローバリゼーションへ』

A5判 304頁／本体 3,000円＋税 978-4-497-21708-0〔2017年刊〕(『假全球化』聯合文学、2007年)
絶対的な「真」と、非難・排除すべき「偽」という二項対立の外にある「偽」の可能性を様々なレトリックを駆使して考察。凝り固まった常識を揺るがす思考のダンスには複雑な「今」を読み解くヒントが詰まっている。

王德威著／神谷まり子・上原かおり訳 『抑圧されたモダニティ 清末小説新論』

A5判 528頁／本体 5,000円＋税 978-4-497-21710-3〔2017年刊〕
(Fin-de-siècle Splendor: Repressed Modernities of Late Qing Fiction, 1849-1911. Stanford: Stanford University Press, 1997)
清末の豊穡な作品群(花柳小説、俠義公案小説、暴露小説、サイエンス・ファンタジーなど)を読み解き、中国文学史上で「排除／抑圧」されてきた清末小説の再評価と、「五四」新文学一辺倒だった中国近代(モダン)文学史の再考を試みる。

李孝悌著／野村鮎子・和泉ひとみ・上原徳子・竹田治美・辜知愚・高尾有紀訳

『恋恋紅塵——中国の都市、欲望と生活』

A5判 552頁／本体 5,000円＋税 978-4-497-21813-1〔2018年刊〕(『昨日到城市——近世中国的逸楽与宗教』聯経出版、2008年)
20世紀(民国期)の上海、17、18世紀(清代)の揚州、明末清初の南京など中国近世の都市で繰り広げられる社会生活のディテールを、読み物、情歌、詩詞や戯曲、札記などの細かい資料によって描き出す。

夏曉鵬／前野清太朗訳 『「外国人嫁」の台湾——グローバリゼーションと向き合う女性と男性』

(『流離尋岸——資本国際化下的「外籍新娘」現象』《台湾社会研究》雑誌社、2002年)
東南アジア出身の「外国人嫁」について、自身の留学経験などとひき合わせながら彼女たちが社会的に疎外されるプロセスを分析し、「外国人嫁」現象をグローバルな経済システム内の国際移動のひとつとして位置づける。

蕭阿勤／小笠原淳訳 『現実へ回帰する世代——1970年代台湾文化政治論』

(『回帰現実——台湾1970年代的戦後世代与文化政治変遷』中央研究院社会学研究所、2008年初版、2010年2刷)

黄進興／中純夫訳 『孔子廟と儒教——学術と信仰』

(『聖賢与聖徒——歴史与宗教論文集』『優入聖域——権力、信仰与正統性』允晨文化、2001年、1994年初版・2003年2刷より編集)

石守謙／木島史雄訳 『移動する桃源郷——東アジア世界における山水画』

(『移動の桃花源——東亜世界中的山水画』允晨文化、2012年)

許雪姬／羽田朝子訳 『離散と回帰——満洲国の台湾人』

(『離散与回帰——台湾人在満洲国与台湾之間』2015年)

黄進興／工藤卓司訳 『孔子廟と帝国——国家権力と宗教』

(『聖賢与聖徒——歴史与宗教論文集』『優入聖域——権力、信仰与正統性』允晨文化、2001年、1994年初版・2003年2刷より編集)

東方書店 【中国・本の情報館】 <http://www.toho-shoten.co.jp>

東京店舗 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-3 ☎ 03-3294-1001 / FAX03-3294-1003 / shop@toho-shoten.co.jp
通信販売 〒175-0082 東京都板橋区高島平 1-10-2 ☎ 03-3937-0300 / FAX03-3937-0955 / tokyo@toho-shoten.co.jp
関西支社 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 2-6-1 ☎ 06-6337-4760 / FAX06-6337-4762 / kansai@toho-shoten.co.jp